

## 編集後記

「学術情報処理研究」は今回で第 15 号を刊行するに至りました。本誌は査読付きの学術論文誌であり、著者の熱意が伝わる高いレベルの論文が掲載されております。取上げられているテーマは、「災害対策」や「省エネルギー施策」、「サーバ集約」など時代背景を反映したものに加え、日頃直面している課題であるセンター業務の「コスト削減」や「セキュリティ」の充実など、広範にわたっています。近年特に、各センターに対するユーザからの要望は質・量共に多様化・複雑化の一途を辿っております。この「学術情報処理研究」は、それら要望に応える智慧を共有するための貴重な論文誌であるものと思われま

す。このような本論文誌の編集と刊行は、編集委員をはじめとする多くの先生方・職員の皆様方の努力に支えられております。本論文誌が無事に刊行され、皆様にお届けできたのは、それらの方々のご協力の賜物です。お忙しい中、貴重な時間を割いてご尽力くださった先生方・職員の皆様方に心より御礼申し上げます。

昨今、大学内におけるセンター業務の重要性は増しており、特に学内インフラや業務システムの整備・効率化が強く求められていると感じております。学内業務の効率化を目的とした最新技術の導入は、逆に一步間違えればユーザからの反発や業務の非効率化にも繋がりがねません。そのような中で、本論文誌で提供された最新の技術及び実際のシステム導入に関わるノウハウを役立てて頂ければ幸いです。本誌が情報系センターのみならず、ひいては各大学の発展に寄与するための有益な情報源になることを願って、編集後記とさせていただきます。

「学術情報処理研究」  
編集委員会主査 河原英紀

---

「学術情報処理研究」編集委員会

---